

謹賀新年

～平成22年～



加東市長

山本 廣一



加東市議会議長

藤田 靖夫

皆様には希望に満ちた輝かしい初春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年のスポーツ界の話題の一つはゴルフです。最年少賞金王に輝いた石川遼君。インタビューのさわやかな受け答えに、ゴルフを知らない人までが彼の魅力に惹かれています。

時代の流れとともに人々の暮らしのあり方にも変化があります。しかし、こうした時だからこそ、ふるさとの人々が期待する地域づくりに一番大切なのは、やはり、お互いを思いやる「和の心」であり、「命や物を大切にする心」。それは日本古来の「心・精神」ではないでしょうか。

新生加東市が歩みをはじめ、三年九か月。加東の一体感、ケーブルテレビの全市への普及によって、さらに醸成されつつあります。

そして、住民自治による地域づくりについても、市民の皆様のご理解とご協力のもとで、「ふるさとの心」を育てようと、それぞれの「まちづくり協議会」が地域を盛り上げ、住みよい地域づくりに活かされています。

人の集まりは地域であり、家族がその原点であります。暮らしの中に笑顔が溢れ、心の豊かさが実感できる、そんな「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく 元気なまち 加東」に早く近づければと願っています。

本年が皆様にとりまして最良の年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

新年明けましておめでとございます。

皆様には希望あふれるさわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素は議会活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

世界の政治・経済は依然として混沌としており、先行きの不透明感が払拭できない情勢であります。

また、わが国では昨年に政権交代があり、民主党政権が誕生いたしました。外交問題・基地問題・雇用問題・膨大な赤字財政問題・景気対策など多くの課題を抱えての新政権であり、国民は期待と不安の目で見守っているところであります。

加東市議会では、昨年十二月定例会において、世界で唯一の核被爆国として、あの惨禍を二度と繰り返すことのないよう、このかけがえのない地球の平和と美しい自然を守るため、核兵器の廃絶と人類の恒久平和のために努力することを決意し、「非核平和都市宣言に関する決議」を可決し、宣言いたしました。

市議会は地方分権の推進にこたえるべく議会改革に取り組んでおりますが、さらなる改革に取り組み、市民の皆様から信頼される議会を目指してまいります。

どうか本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。この一年が皆様方にとって輝かしいものでありますようご祈念し、年頭のごあいさついたします。